

1. 自治会活動を持続可能にするための町の考えは

現在県西地域は人口減少に歯止めのかからない状況の中で、本町は唯一人口増加が続き元気な町と言われている。

南部を中心に町内の各地域で宅地化が進み、人口増加の状況はしばらく継続するものと期待できる。

しかし人口が増加するだけで本当に住みやすい、元気な町と言えるだろうか。住みやすい元気な町とは、人口増加と共に町全体の地域が活性化し、そこに住む人が安全安心に楽しく充実した日々を過ごすことができる町だと考える。

災害時などに共助をしっかりと発揮させるためにも、日頃から地域の連携が大切であり、充実した自治会活動の役割は大変重要だと言える。

人口が増加し続ける中で、自治会の加入率はほぼ横ばいで推移しているものの、自治会活動に対する参加者の減少や、自治会役員のなり手不足など次第に課題が浮き彫りになってきているのも現実である。

人口増加が続き住み良い元気な町と言われ続けるためには、これらの諸課題を克服し、自治会活動を継続させることができないと考える。

そこで現在の自治会活動を持続可能にするため、主な課題である自治会活動に対する参加者の減少と、自治会役員のなり手不足の克服について町の考えを問う。